

令和 6 年 2 月 9 日

ご入居者及びご家族等の皆様へ

サンリッチ伊東
施設長 黒柳 達也

入居者運営懇談会のご報告について

1月27日に開催いたしました入居者懇談会について、次のとおりご報告させていただきます。

- 1.日 時 令和6年1月27日（土）13時30分から14時43分
- 2.場 所 1階レストランにて
- 3.参加者 入居者12名+ご家族9名 = 計21名、職員9名
- 4.挨拶

福家社長 ⇒ 本日は、運営懇談会にお集まりをいただきありがとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

今、国内の全業種で人手不足が生じています。介護施設においても慢性的な人手不足になっています。そこで、当施設では特定外国人や技能実習生の受入を昨年より始めました。ミャンマー人2人を受入しましたが、1人はこの1月に退職されます。新たに、本年4月から5月にかけてミャンマー人2人の受入を進めています。

今後も入居者皆様へのサービス質向上のため、さらに働きやすい職場環境を目指して人材の確保に努めて参ります。待遇・休み・福利厚生面などの改善を進めていきます。

さて、この4月から介護報酬（約1.59%）が値上げされますので、若干ですが入居者皆様のご負担も増えることとなります。ご理解をお願いいたします。この値上げにより施設全体の増収額は、1か月14～15万円程度を見込んでおります。この増収額では、日々購入しております食材費・電気代・ガス代・消耗品の購入費などの物価高を賄うことはできません。そのため、稼働率を上げていきたいと思っております。

人手不足や物価高の今日、入居者様と施設が協力しあって生活しやすい環境や働きやすい環境を整えていくことが必要となります。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上、簡単に挨拶をさせていただきました。

司会者（生活サービス課、山口） ⇒ それでは、議題に入らせていただきます。なお、質疑については全ての議題説明後に時間を設けさせていただきますので、予めご了承ください、と述べました。

5.議題

① 一時金の返還債務の保全措置について

黒柳施設長は、当施設は公益社団法人全国有料老人ホーム協会の入居者生活保証制度に加入していますので、前払金（一時金）返還債務の保全については、この制度を

利用いたします。この制度は、前払金の返還債務保証（返還される前払金残高の保証で上限 500 万円まで）や破産等により全員退去となった場合には、上限 100 万円までが保証（前払金の残高が 100 万円未満のときには、前払金の保証と合算で 100 万円までを保証）されることを説明しました。

② 介護職員配置体制・勤務形態などについて

西城介護サービス課長は、本議題について P2～P5 の「職員体制」について、職員数、資格保有状況、夜勤体制などについて説明しました。

③ 運営報告について

黒柳施設長は、この議題について P6～P9 の「運営等報告書」により、1 年間の運営等の報告を説明しました。

④ 決算報告について

浅野総務課長は、本議題について P10～P12 の「全体の決算報告書」及び「部門別収支報告書」により詳細に説明しました。

⑤ その他

(A) 改修工事の報告について

西野主任 ⇒ 4F～5F（居室廊下、共用部廊下、リビング、トレーニングルーム）の改修を完了したことを報告しました。

(B) インフルエンザ及び新型コロナウイルスの感染予防について

永野看護サービス課長 ⇒ 日々「手洗い」と「うがい」を行っていただくことをお願いしました。

(C) 要望等について（木内食事サービス課長）

木内食事サービス課長 ⇒ どんなことでも構いません。何か要望等があれば、ご意見をお願いしました。

「質疑応答」

① 一時金の返還債務の保全措置について

・ご意見等はありませんでした。

② 介護職員配置体制・勤務形態などについて

・ご意見等はありませんでした。

③ 運営報告について

・ご意見等はありませんでした。

④ 決算報告について

入居者 A のご家族様

⇒ 食事の赤字が多いのは、食事を利用したい人が少ないのでは。食事内容を変えたらどうでしょうか。

施設側回答

⇒ コロナ禍で入居者数が減ったことも要因の1つになります。自炊している方もおります。ご指摘の食事の内容については検討させていただきます。

⑤ その他

入居者 B のご家族様

⇒ 特定外国人（実習生）は何年勤務しますか。

施設側回答

⇒ 5年間で限度になります。

入居者 B のご家族様

⇒ 5年経過後の方針は。

施設側回答

⇒ 5年以内に介護福祉士の国家資格を取得すれば期限はなくなります。施設としては国家資格を取得できるよう育てていきたいと考えております。

入居者 B のご家族様

⇒ 防災設備はどのようになっていますか。

施設側回答

⇒ 食糧品（10日分）や介護用品（2か月分）などは備蓄をしています。今回の能登半島地震において、一番必要とされているものが水のようなようです。当施設においては、伊東市からの水供給（断水）がされないことを想定し、東日本大震災後に非常用電源設備を増強しました。この設備で温泉汲み上げポンプを稼働させ、入居者皆様に温泉水を供給できるようにしています。この温泉水は飲料水として利用できますが、燃料（軽油）の確保が課題になります。

入居者 A のご家族様

⇒ 居室や共用部に手すりが少ないと思う。

施設側回答

⇒ 検討したいと思います。

後日検討した結果

⇒ 居室においては当事者と話し合っただけで検討させていただきます。また、廊下には板が設置されています。これは手すりと同じ機能になります。

入居者 A のご家族様

⇒ 買い物時間が短いのでは。

施設側回答

⇒ 検討したいと思います。

後日寄せられたご意見及び検討

⇒ 今の時間でよいとの意見が多く寄せられましたが、個別にお聞きして改善していきたいと思います。

入居者Cのご家族様

⇒ 現在の入居者数及び定員は何名ですか。

施設側回答

⇒ 現在は76名です。定員は85室100名になっていますが、2人入居の人数によって定員数は左右されます。

入居者Dのご家族様

⇒ 朝食の麦ごはんは不満です。いつまでも口に残ってしまう。

施設側回答

⇒ 検討させていただきます。

後日寄せられたご意見及び検討 ⇒ 多くの入居者皆様から、自分たちは特に違和感はないと思うとの意見がありました。食事については個人差がありますので、個別対応により検討や改善をしていきたいと思えます。

司会者（山口） ⇒ 他にご意見はございませんか。ないようでしたら入居者運営懇談会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。14時43分に閉会しました。

以上、ご入居者様及びご家族皆様等からのご意見並びに弊施設からの回答について、ご報告させていただきます。なお、本報告は当日のご意見や回答などを整理して配布させていただきました。

施設長